（大正十二年十二月二十二日第三種郵便物認可）　昭和十四年八月十一日　磐城新聞　〔金曜日〕　第五千五百九十五號　〔一〕

夕刊
磐城新聞
八月十日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京物報●一〇一六五五八番

天氣豫報
小名濱測候所發表
今晩　北東の風曇小雨
明日　同

次回讀もの豫告

本紙講談『恩讐無道』は好評裡に完結致しました、次はこれ亦長編時代小説『振袖横丁』しと題する百五十回もので愈よ田紙より連載致ます。多彩なその筋書は蓋し讀者諸賢の御期待に充分なるものと信じます。

長篇時代小説　振袖横丁

須藤鐘一作
荻原萬象畫

◉作者の言葉

須藤鐘一

私はこの久しい計畫であつた五代將軍綱吉治下の多彩なお家騒動を、青史、野史の精細な研究を基調とし書いて見た。そして藝子の茶生がこの時代にも暗躍してあつたことを發見！これの動靜に就いても可成克明に書いた『お蝶』と名乗る妖艶な女性に於てはその性格と美貌を極彩色して、讀者を絶對的に引摺ることに努力し、然して私はその企にも成功してゐると大きな自信を持つてゐる。梗概は到底一口には語れない。

◇梗概

五代綱吉將軍の治下江戸表に妖艶な女が出沒した或時は水も滴らんばかりの高島田の襟を靡かせる仇討娘を裝つて街に病み町家の娘だと云つては境内に假病を遣ひ、江戸の武藝者を狙ふ……芳醇な肢體をくねらして癡し苦しむよ見せては、こを勞にらんとする者を『エイツ！』と匕首を袖の下に閃めかして刺さんとする。艶にも氣品高き其物腰、崩れんとする牡丹の樣に妖しい流目の女は果して何者ぞ、そして、何を企む徒黨ぞ？綱吉將軍、世嗣ない、甲府中納言綱豊卿紀州中納言綱教卿、それに御三家尾張大納言光友公、紀伊大納言光貞公、水戸宰相綱枝公等の世嗣擁立爭ひを繞り、大老柳澤美濃守の陰謀、彼を闇殺せんとする勤皇の武士等がマン巴ジとなつて繰り出す妖艶悲壯、凄絶豪烈の一大繪巻か江戸を中心に天下に波亂すると云ふ戰時下娯樂讀物界の豪華版である

送小磯君榮轉相川測候所技師

錦城　小野義平

氣象洞觀無一惑
測邪多處頌聲傳
多年精勵功勳大
今日榮遷豈偶然

8月11日
△新内節の開祖鶴賀新内歿す（安永三）△カーネギー死す（一、九一九）△張鼓峰現地で日ソ兩軍代表間に停戰現地協定成る（昭和一三）

波羅蜜（上）

平井二郎

○如何に樹に生をうけむ南瓜のごと大きなるを波羅蜜を見つゝ驚く
○波羅蜜のどつしり坐るよき大き實の重さは思ひみつつ手には抱へず
○薇肌の南瓜の大きさの波羅蜜を如何に切り割りて食ふべきものか
○果物はたち割らばおのづから食ひやうのわからむと波羅蜜を据ゑつゝ思ふ

○
遠長に柳と水や夏芝居　丸子

講談　恩讐無道（175）

久我莊多郎作
香川三十代畫

人の巻　時勢は移つる（二）

みなの目の前へ、はいつて來たのは三五郎だつた。

『旦那』

『やツ、三五郎か』

意外な男の姿に、專藏が呆れると、三五郎は、

『あツしは、姐御さんのお言葉できのふからずツと、旦那のあとを尾けて居りました。いま姐御さんが死んだつてことは、表で聞きましたが……旦那、あツしもお連れて行つておくんなさい兇状ならうんとあるあつしなんだ。それに、姐御さんたちのゐねえ世の中にやもう用のねわあつしなんだ』

『いゝ覺悟だ』

と、專藏は、ほろ苦い微笑をふくんだ。

『一緒に行かう。道連れが出來れば、賑やかでいゝ。とてものことわしたちを待つてゐるのはつめたい斷頭台なのだ』

明るくいつてはゐるが、その語尾にある暗さは隱せない。

誰もが、聲をのんだ。

專藏は、さつきから涙を嚙みしめてゐる茅江を見返つて、

『お茅江さん』

『……は、はい』

顔を上げると、

『御門專藏といふ男は、古今にまれな大馬鹿者だつたのだ。その馬鹿者にかけてくれた厚い情けに、何の報ふことの出來ないのを、わしは殘念に思ふ』

『……』

『女子のひとすじな心根はしみ〴〵有難く感じるが、しかし、無駄なことなので專藏は、この夜限りで消えてしまふ。だからこの先、いゝ夫を求めて、しあはせな暮しにはいつてくれ』

『專藏さま』

茅江は、火のやうな涙をバラハラこぼして、

『その言葉、おうらみに存じます。あたしは、いつまでも……いつまでも、お待ちいたして居ります』

『わしが、生きて居れば、だ。それもいゝだらう。が兇賊かけらふの行手にあるものは、斷頭台だけなのだ詮ないことだ』

『……』

『子供のことだけは、くれ〴〵も頼む。いゝ母であつてくれ。いゝ妻となつてゐてくれ。草葉のかげで──わしは、それを祈つてゐよう』

一座を包むものは、重い涙だけだつた。誰も、何もはない。

× ×

あゝ……何年經つたでせう？

又、日、……方、惣介

に引立てられた專藏が、長谷川町の家を出てから、三年の歳月が流れた。

春、夏、秋、冬…

春夏秋冬は、變りなく巡つて、いつまでも同じ季節に人の心をあたためるけれど、その間にも、時勢は案外らしい速度で移つたのだ

とりわけ、目ざましい移り變りを見せる明治初期、古きから新しきへ、人も何もドン〳〵驅けた

そんな日の春の一日、横濱波止場へ、いまアメリカ汽船の巨體が、ユッサリと横付けにされやうとしてゐる。

棧橋にはいつぱいの人が群れてゐた。その出迎への人のなかに丸髷姿の美しい茅江が見えた。その傍にもうすつかり大きくなつた專之助を抱いて、庄太郎のいなせな顔があつた。いまは仲の良い夫婦として、噂ののぼる彼らなのだ。そしてびつこをひく難波愼吾に話すきお香代の娘姿も、そこに見られてゐた。

彼らは、誰を出迎へてゐるのだらう？

やがて、横付けとなつた船の甲板に、立派な日本紳士が、異人の妻の腕を執つてゐるのが見れる。

惣介である。妻といふのはーいふまでもなく、ワドソン氏の愛嬢で、惣介にひとすじな愛情を傾けてゐたメリーであつた。（大團圓）

◇住宅地分讓◇

都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪

金より物の時代
「安全の土地」

支那事變前では、投資家の投資物も種々雜多で、その向き向きに依つて、投資せられたものもありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の強化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝことゝなりました。その間に在つて殘されたる安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於ける跛行的景氣に依るインフレ傾向は、全國的土地投資額熱が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來してゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資が、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結ともなれば、戰勝インフレの幕が切つて落さるゝことゝなれば、産業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものでありと存せられます從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數十割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。

大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市内田町一九蓮沼方〔電話七八七番〕へ御問合せ下さい

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話五八番）
磐田女學校前
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）

齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木喜政
内郷村高坂磐炭病院前

鈴木醫院

◆内科、小兒科　院長　前田清美
◆外科（外科一般、内臓外科）
◆花柳病科　副院長　野村武一
◆X光線科（新設）
◆物療科
（手術室入院室完備）
前田醫院
植田町本町　電話一二四番

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平産業養狸組合事務所
乾産業會社畜産部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
内郷村墹（平市外）
出張所　平驛前　電六四八番
分讓所　東京市淀橋區下落合

◇藥品榮養料飼料各種◇
北里研究所製
◇ジステンパー豫防液
東亞製藥所製
綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイッシミール
榮養魚粉
病理研究、診療
榮養劑の配劑
飼育指導の需に應
擔任技師　獸醫師

重田眼科
平驛前通り　元貯蓄銀行跡
眼科一般
眼鏡檢定
醫師　重田景治
平市田町一番地

（金銀高價買入マス）
時計メガネ、ハ
平市二丁目　ネモトへ

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
◉時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
卒業期間　四ケ月（高女卒程度）　十ケ月（小高卒程度）
◉卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月　隨時
卒業期間　本科　一ケ年　速成科　六ケ月
文部大臣認可　平陽女學校
（平市　電話四四五番）

ミシン
平驛前大通り（シンガー）
石川ミシン店
世界代表　シンガーミシン
日本代表　アサヒミシン
ニツポンミシン
コントロール
◎月賦販賣　◎無料教授

たひらみやげ
御家庭の皆樣が、御茶の友として急度御氣に召す米屋の
風味豊な　ツブシギントン　最中
平市停車場通り
最中專門店米屋

女坑夫復活本極り

地方大小各炭礦でも手不足の緩和絶大か

刻下の人手不足を緩和する女坑夫の復活に就ては既報の如く昨九日厚生省に第一回勞働局參與會議を開き審議を重ねた結果『女子坑内就業の特例に關する』省令を制定來週中に公布實施することになつたその大綱は女子勞働者保護の見地からやはり新に入坑を許可するものは廿五歳以上の女子に限定しその期間も三ケ年計畫が一應完成する昭和十七年三月卅一日までとし入坑女子は坑夫の妻または家族で姙娠中は坑内作業を禁示するほか、年二回健康診斷を行ひ鑛山では入坑女子勞働者九割八分までが母性である關係を考慮し特に乳幼兒保育所はじめ休養所榮養衞生方面の福利施設を擴充して保護を加へる方針である

現在當局の許可を受けて入坑中の女子は七千九百八人であるが當局では新に一萬四千人が動員されるものと見てゐる、戰時下重要産業部門にかくも大量女子勞働者が男子に代つて參加し國家總力戰に協力するものとして注目されてゐる

改修促進——最後の奮張り

國道六號線に關し　青沼氏ら十四日上京

勿來——久の濱間國道六號線の改良は既報の如く內務省の全國主要路線改修計畫によつて愈よ有望視されるに至つたので期成同盟會では此の際猛運動を試みるべく青沼市長外關係町村長は十四日午前九時內務省土木局集合の上各方面に促進運動をする

參事會顔合

議席等きまる

市參事會の初顔合せ會は昨九日開き抽籤によつて議席番號を

1川崎　2鈴木庫　3吉村　4鈴木彌　5吉田寅　6多田井　7大谷　8矢吹龜　9永山　10大嶺

以上の如く決定、既報諸木を附議した臨時出納檢査立會人は川崎、吉田寅、鈴(庫)の三氏に決定、左記區長、同代理者を推薦した（カッコ內代理）

△二丁目中野庄吉（星野久八）△胡摩澤花澤久一郎（田名網申藏）△仲間町荻灸藏△八幡小路渡邊久△鍛治町（梅津松吉）△十五丁目（松本榮二）

流石にみな緊張

時局意識を反映した　宿舍其他での壯丁の姿

市、郡下に於ける戰時下の壯丁檢査は愈よ昨九日を以て終了した。その各方面に於ける成績は今後資料の整理に待たねば判明せぬが、時局の認識に關する一斑として各壯丁が從來に見る事が出來なかつた迄に眞劍味を帶びて居たのは此際見逃すべからざる一事であると云ふ。即ちこれ迄は人生の一轉機たるこの檢査には一日の解放氣分を味ふ意味に於て各宿舍に於ける動作その他往々教養ある青年として遺憾の節が絶無ではなかつたが今年は旅館に於ける女中泣かせの暴れ喰ひや、枕その他の器物破毀などが全然その跡を絶ち、赤い灯を追ふ歡樂氣分なども著しく減少したなど監督當局でも少からず喜んでゐると

巡査採用試驗

本縣巡査採用試驗は二十日午前八時から縣下各警察署毎に行はれるが試驗科目は算術、國語、日本地歷、常識、希望者は當日履歷書持參出願せられたいと

老爺の溺死判る

八日江名町神白川にあがつた溺死體は同町馬目藏之助（七八）で六日ワカメ取に行き波にさらはれたもの

木炭切賣廢止

平木炭商組合では從來行つてゐた木炭の切賣奉仕を店員不足と薄利のため今後廢止する

頼もし健康群像

暑熱下の猛練習

磐女で運動競技に精進

先月末を以て一先づ灼熱下の集團勤勞を打ち切つた磐女では一と息入れる間も無く數日前から蛯名教諭指導の下に各種競技部の猛練習中である一方、昨九日から更に新妻教諭及び態々招聘した文理大の安田選手による籠球のコーチを開始した外來る十六日からは排球、庭球の各部も亦練習に精進し殘暑物かはの意氣を以て全面的に覇者たるの櫻丘陣營を整備する方針であると

五十二日目で歸る

蓮沼縣代表慰問使

平着は十五日午後の豫定

去る六月二十五日午前十一時十分發の盤越線で平驛を出發以來玆に一ケ月半、本縣代表皇軍慰問使として灼熱の中支現地を文字通り南船北馬の難行を續け、鄉土出身勇士をはじめ多數將兵の勞苦を犒ひ來つた本社長蓮沼縣議は、既報通信の通り元氣旺盛裡に初期の旅程を了し、昨九日上海發明十一日長崎上陸、十二日着京十三日第二師團に、十四日縣に夫々慰問狀況を報告の上同夜福ビルに於ける鄉土部隊報告講演會に臨み十五日午後二時五十分着前後五十二日振りで歸平の豫定である

植田で二戸全、半燒

防空群の活躍目ざまし

十日午前零時半頃植田町本町菓子商榮泉堂こと瀨谷龜之助方から發火同家を全燒し更に隣家の古川正一方を半燒して一時半鎭火した。原因瀨谷方のカマドの不始末で損害五千餘圓

發火と同時に上町家庭防空群が出動過般の防空演習で鍛へ上げたリレー式バケツの運搬もあざやかに消火に盡力した

鄉土の將兵に會ふ

暑熱の中支現地から

九日着航空便〔14〕　蓮沼龍輔

八月七日鄉土部隊の猛闘奮戰の戰蹟、老陸宅、馬家宅を弔問の目的にて〇〇兵站にて御願申候處目下同方面は非常なる危險區域內に付き護衞兵を附けられ出發仕候•途中大場鎭の表忠塔ト參拜し福島縣慰問使の標と花輪を捧げ老陸、馬家方面に進みしに途中の燵梁〇〇に破壞され止むなく燵梁の下で一分間默禱丈けで現地に到着し得ず空しく引き返し申候•其の足で廟行鎭の三勇士を參拜と吳淞第一敵前上陸地點の陸海將兵の納骨碑を參拜當時の戰況を案內より詳細拜聽し實に感慨無量に候•皇軍將兵の猛灘勇敢には驚嘆の外無之候•大町山田少尉戰死の地にて默禱を捧げ申し候•

夕刻某地に於て〇〇〇部隊鈴木隊及び〇〇〇部隊國分隊慰問の際本郡出身會談者芳名

內鄉　清水　文男
小名　小山　龜吉
錦　蓬萊　信勇
平　清水　直厚
內鄉　志賀　英雄
泉　上遠野　驥
植田　中村　孝治
湯本　上遠野正二

〇〇〇部隊田中部隊には福島縣出身將兵に本郡出身者無之候•

上海よりの航空便は是れが最後かと存じ申候•私しも頗る元氣に候間御安神被下度

八日上海市吳淞路日の丸旅館にて

甲種臨海便り（三）

平第一小學校

八月五日（水）晴午後雷雨　海へ來た時は少し恥かしい程白かつた身体も昨日今日はすつかり日燒けして如何にも丈夫さうになつて來ました。けれど一番困るのはお風呂です。ヒリ〳〵しみてなか〳〵肩まで沈むことが出來ず、水を澤山入れて入ります。僕逹は大抵四時頃行きますので他の人は一人も居ない事が多く僕等の自由に出來ることは幸です。

今日も五時起床でした。ほんとは五時半に太鼓を合圖に起きるわけですが誰も太鼓の鳴るまで寢てゐる人はゐません。早い人は四時頃から目をさまして先生から注意されたりしますが五時近くなると皆目をさましてお話しを始めますので遂に先生も五時に『起床』の號令をかけます。晝の疲れでグッスリ眠りますので大變元氣に暮らしてゐます起床の後はお互ひに寢具の整頓、當番のお掃除、其の間洗面して海へ出ます。海で宮城の遙拜、お父さんお母さんに御挨拶、それからラヂオ体操が始ります。これだけが毎朝の行事です。食後は一時間近く勉強して海に出かけます。今日の午前中は大變靜かでしたが海は足がしびれる程水が冷めたくて水に入つても五分とは入つてゐられない位でした。お晝を食べて食休みをして居た時飛行機が二台低く二度も三度も旋廻してゐましたので僕逹は素裸足で海にとび出して見ました。乾度不時着する心算だつたのでせうが人が多く遂に仁井田浦の方へ低く飛んで行きました。後から聞いたのですがガスの爲に仁井田浦に着陸したさうです。明日の朝私逹も見物に行きます

其の中に雷が鳴り雨が降つて來ましたので午後の僕逹は本を讀んだり遊んだり騷いだりして過しました。三時頃雨の晴間午後の運動にボールを持つて海へ行つたけれど雨に降りこめられ無料脫衣所に日歸りの人逹と降り込められて容易に歸へれませんでした。

こゝにも十一人

平窪にまた子寶部隊

六才が最抵として現存十名以上——大臣賞を約束される子福者は本社調査によると市內で既に三家庭に上りまだ〳〵この目出度い家庭があるものと見られるがこゝにもまた羨ましい家庭を見だした、市內大字四波字引田和田清吾さん（五五）は妻女マツエさん（五〇）との間に左の如く十一名の子澤山である、統計から見ると子福者はどうしても農村に多く當平窪でも八、九名ならざらにあるやうだ

長女ヨシヱさん（三三）二女ハルさん（三〇）長男正男氏（二八）二男武夫氏（二五）三女重子さん（二三）三男幹雄君（二一）四女フク子さん（一八）四男勝男君（一五）五女セツ子さん（一二）六女清子さん（一〇）五男清平君（八）

星野氏寄附

市內二丁目鍋嘉酒店主人星野久八氏は昨年十月戰死した長男嘉久次君の新盆費用を節約、左の如く各方面に合計百圓を寄附した

△軍事後援會、社會事業助成會へ各二十圓△傷痍軍人相談所、平署內人事相談所へ各十五圓△磐城訓盲院、佛敎同志會、自營會へ各十圓

手不足は女の手で

來月中夜間十九日　女店員養成講習實施

平職業紹介所では昨今の人手不足に鑑み商店員等は女性を以てこれに代へるべく女店員を養成することになつた、これは同所が目下舊平商校舍で行つてゐる夜間製圖講習會と共に今夏季中の新施設で大体來月中十五日間毎夜六時から八時迄三時間に亘り同所樓上で講習する豫定である、受講資格は十五、六才から二十四、五才迄の未經驗者十五名を限度とし、前記製圖講習生同樣終了と共に同所が就職先の斡旋をする方針であると

市土木委員會

十日午後一時から開き道路新設變更申請、橋梁塵芥除工事施行方法に關し協議

獻金

好間村上好間隅田川炭礦撰炭婦金成キヌさん外二十六名が醵金二圓七十錢を國防費として十日平署寄託

平市慶弔錄

△出生　長橋町五〇川澄政恒氏長女千津さん、本籍二丁目四仙台市行人塚文吉氏長女京子さん

○婚姻　大工町一六星竹次郎氏（七三）栃木縣那須郡向田村大字神長三九恩田サダさん（五七）

▲死亡　本籍五丁目好間村北好間字三反田一一野田イネ子さん（二）

家庭料理　けふの獻立

平保健所榮養指導員　成田君子

生節生姜煮、野菜炒煮

生節　四五匁普通の一切
生姜　少々
茄子　七〇　中一ケ
馬鈴薯　五〇　中一ケ
油　一〇　二、七匁
計蛋白質一二、一瓦
溫量二〇〇カロリー

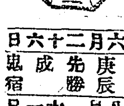
〔調理法〕生節は生姜の輪切にうすく切つたものを入れて砂糖、醤油に煮付とす。茄子馬鈴薯はなるべく大切となし油で炒めて水を加へ生節の煮汁を入れ砂糖、醤油で炒り煮とす

十一日

【小名濱測候所觀測】

滿潮　前一一、三〇　後一一、二〇
干潮　前六、〇五　後六、一五

舊六月二十六日　金曜　庚辰　先勝　成　鬼宿　新八月十一日



▲一白　見込みたる事も中途にして行違を生じ易し▲二黑　表面の景氣に驅らるゝ時はぬか喜びに終る日▲三碧　心平靜なる時は運氣刻々と吉に向ひ進む日▲四綠　努力は萬福の基ひ辛抱強き者は末勝を占む▲五黃　自儘心をおさへ大小となく目上に從ふて吉し▲六白　引込み思案を起さず氣を勵まし進みて吉し▲七赤　吉日なれども油斷すれば秩ちよ次第にみだれん▲八白　內輪より事の破れを生ずることある日注意▲九紫　物にうまざる時は大吉の日となる但旅行凶

廣告

田毎のアイスクリーム
田町　電632

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主　院長　醫學博士　鈴木定藏
內科　小兒科　院長　鈴木定藏　副院長　土井利明
內臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑部長　吉本孝平
診療時間……每日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

病者の福音
原因から治療する東洋醫學の新しい療法、迷はず疑はず今すぐ治療效果を試みられよ見離された急性慢性の難病が迅速確實に根治す萬上の實價は實驗者の立証に徴して明かなり
キット治ル
肺病ト肋膜　神經痛　神經衰弱
リウマチス　心臟ト腎臟　關節炎
大便諸病　喘〳〵息　肩のコリ
痔疾　婦人諸病　中風
淋病ト梅毒　胃腸諸病
腦溢血豫防治療
其の他急性慢性に病む方に急告
平市研町一七番地
器壓療法　佐々治療所
◇治療時間正午より

外科、內臟外科　エツキス光線科　產婦人科
院長　安齊徹
醫學士　小松千秋
入院隨意
平市田町　安齊醫院　電話四七五番

病室・手術室完備
產婦人科　醫學博士　五十嵐雄一
（物理療法科併置）（入院隨時）
平市新川町（電話三六九番）

神經痛・ロイマチス
塗布藥　漢方　白草根
藥價　五錢　一五錢　五〇錢
陸海軍病院御用藥
平代理店　丸亀商店　平市大町　電話一三三番

淳光院新盆の處勝手がましく候得共提灯、其他供物の儀固く御辭退申上候
平市南町三〇　佐川三良

耳鼻咽喉科專門
（入院隨意　病室完備）
平市南町一六番地
大和田醫院　電一七〇番